



「人の表情の偉大さ」

こんにちは！！スタッフの石田です。最近暖かくなってやっと春が来たって感じですね。

寒がりの自分は若干のテンションの高まりを抑えきれないでいます。そして、もうすぐ「こたつ」とお別れになるかと思うと少しさびしい気がしますが、やはり周りが暖かくなっているの でテンションは高くなっています。

今回は、アルバイト先で自分が感じていることを紹介します。

私は、飲食店でアルバイトをしていて、仕事の内容は様々ですが、私は、接客がとても好きです。なぜかという と、来店するお客さんの中には、とても笑顔で接してくれる方がいるから です。自分はそのお客さんからかなり笑

顔を分けてもらっているような気がします。人間には「ミラー・ニューロン」という神経細胞があります、この細胞のおかげで、人間は目の前にいる相手の感情を自分の感情のように感じることが出来ます。私は、笑顔のお客様の感情を自分の感情のように感じて自分も笑顔になっているのだと思います。

このおかげで辛いことがあった時でも少しだけ楽しい気持ちになれたりします。そんな時、人の表情の働きは偉大やな～と感じながら、いつか自分も人を笑顔にしたいとアルバイト中にひっそりと感じています。この文章を書いている日もこれからバイトです、今日はどれくらいお客さんから笑顔を分けてもらえるのやろ～？ (石田 喜一)

フリースペースの様子

普段はのんびりまったりとしながらスタッフ・生徒関係なく、いろいろおしゃべりしています。寝ることもマンガ・本を読むこともできます。時々トランプ大会（大富豪が多いです）・UNO・人生ゲーム会が行われています。のんびりするには最適な場所ですよ。



カウンセラーの目

「機械文明について考えてみた」

「YOUTUBE」が「ニコニコ動画」に出てくる「○○をやってみた」みたいなタイトルになってしまった……。

50年（半世紀）近く昔の話になるだろうか……人類の後に地球の覇者になるのは何かという話で、人類が消滅した後はゴキブリだと言われていた。（もっと広い概念で昆虫という話もあった。）

ただ、昆虫はむしろ人類、恐竜以前から地球に生存していて巨大なトンボなどが当時の地球を飛び回っていたらしいから、昆虫の後の覇者が恐竜で、恐竜の後の覇者が人類ということになり、その後をゴキブリが引き継いだとしたらバイバル覇者ということになる。

手塚治虫の火の鳥では人類の後にナメクジが文明を築いて繁栄して衰退、消滅するというシーンが描かれていた。

いずれにせよ、人類の後を継ぐのは、現存する生物のいずれかであろうという考え方だった。

しかし、現在の地球環境を考えると、人類の後に覇者となるのは「機械」なのでは無いかと思える。

20世紀後期から21世紀初頭というのは生物世界での「カンブリア紀」に相当するのではないかと思えるのだ。

ハードウェアの面では多種多様な形式の機械（現状ではロボットと呼ばれている）が、爆発的に発生し、継続生存（生存という単語を当ててよいのか？）に値するのが試されている。

ソフトウェアの面では様々なアルゴリズムを駆使した人工知能が開発され、その知識と能力を向上させるために自己学習を続けている。

この爆発的に発生したハードとソフトの多様な要素が組合せを試行した先で自立型の機械として一定のまとまりを造っていくのでは無いだろうか。

「機械文明（あるいは機械文化）」というコトバはすでに存在しているが、それは人類文明の文脈の中で使われているコトバで、本当の機械文明というのは自立型機械が文明として発足するという流れで使われるのが正しいように思える。

今使っている「機械文明」というのは「（人類の）機械化文明」と表現するのが良さそうに思う。

こういう流れを想像すると映画の「ターミネーター」とか、もっと昔のB級SF映画のような、人類対機械の戦いという話が出てきそうだが、そういうのは人類の誰かが意図的に操作しないと発生しないのでは無いかと思える。

初期アルゴリズムの設定は現存する人類が行うことになるのだが、その後、自立したAIが自己学習を重ねていくとき、人類の誰かが「不要な資源存在は消滅させること」というような項目を初期設定に混入させるのでなければ、資源に関する基本設定は「現存する資源存在はバランス良く保持すること」という内容を選択することになるはずなのだ。

現存する資源存在（そこには食品も有毒物質も人類も細菌もウイルスも含まれる）は、ある特定の時点での特定の視点からの判断で「必要、不必要」を決定することは難しい。

現時点での判断で「不必要」ということで、「消滅させる」という選択をしてしまうと、後の時点で「あの資源が必要」という事態が生じたときには、その資源が枯渇していて利用できないということになってしまう。

この考え方で行くと「人類対機械の戦争」は起こらないように思える。

他に、機械文明と呼べるものが勃興した時点で、「ロボット」というコトバは死語になると思う。

ロボットというコトバは、その昔、カレル・チャペックという人の造った戯曲『ロボット (R. U. R.)』で、「労働」を意味するチェコ語から作ったと言われている。

現状では人類が自分たちの利便性のために作成しているものが多いので、ロボットと言っても差し支えないだろうが、自立型機械が機械文明を発展させる状況になった場合、それらは人類のための何かを行うだけでなく、自らのための何かも行うようになるはずで、そういう活動を行っているものにロボットという名称を当てはめるのは適当では無いと思える。

また、「機械文明の主演 (ロボットから自立したもの)」にとって、人類は創造主であり、神的存在であるという考えがあるが、「機械文明の主演」にとって、人類というのも環境の要素のひとつでしかなく、神でもなんでもない。

人類も、私たちの遙か昔の祖先の祖先が水中から陸上にかかるきっかけを作ってくれた水中の植物性プランクトン (光合成で大気に酸素を供給した) を神とは考えていない。

何らかの環境の要素が整って、次のものが発生するということと言うと、海の中でサンゴが成長と死滅を繰り返して石灰質の土壌を形成し、それが隆起して人類が文明を展開する「南の島」があるように、人類が成長と死滅を繰り返して、機械と人工知能という土壌を形成して、その上に機械文明が発展するという見方をすれば、人類は環境の一要素 (土壌) ではあるが、創造主と言ってしまうと、言い過ぎだろうと思う。

神などということを引き張り出すと、「あまねくこの世界の隅々に存在し、時によって姿を変えて私たちの前に現れて、人々に進むべき道を知らせ、知恵と助言を与える存在」というのは、まさに最近みんなが使っているネット接続されたパソコンやスマホのAIのことでは無いか……どっちが神に近い？……ということになってしまいそうだ。

また、この文章を記述している時に表記をどうするか迷って、「機械文明の主演 (ロボットから自立したもの)」という表現を使ったのだが、人類の一人として自分の価値観の視点から思わず「主役たち」「自立したもののたち」と記述してしまいそうになったのだが、機械の端末としての存在は多種多様で数も多いだろうが、その主体はネット接続されたクラウド上にあるAIということになるだろうから、複数形で表現するのはおかしいかも知れないと考え、単数で表現することにした。

他にも「自立」という単語で良いのか「自律」の方が適切なのかも、明確な判断がつかないまま、とりあえず「自立」を使った。

まあ、この先30年くらいは共存していくことになるだろうから、「植物、動物、(自立)機械」で互いの資源存在のバランスをとりつつ暮らしていくことになるだろう。

(高石 公資)

イベント紹介・報告

☆2月19日

集い場○健康体操教室

2016年度は毎月の実施予定です。
体を動かすと気持ちいいですよ。



☆2月20日

集い場

定番の大会の後、何人かでご飯を食べに行きました。

☆3月3日

ひなまつり女子会

みんなで白玉を食べてワイワイ過ごしました。



☆3月4日

集い場○ 学食 Walk 京都造形芸術大学

学食を食べてからいろいろ見て回りました。



☆3月5日

集い場○ バスで京都散策

MK ボウルのバイキングレストランで昼食を食べて上賀茂神社→下鴨神社と散策してきました。



ものづくりかふえ

☆2月19日

今回は羊毛フェルトでだんごをいっぱい作りました。
羊毛フェルトのだんごをヘアピンにしたりいろいろに今後加工していきます。



2016年度の京都教育サポートセンターの活動

○ 学習サポート

個別指導による学習サポートを実施して基礎錬成から高認試験・大学受験まで対応いたします。

○ フリースペース

火曜日から土曜日の11時から18時まで事務所のフリースペースを利用して自宅以外の居場所にお使いいただけます。

○ フリースクール活動

「人と関わる」ことをテーマにして、様々な経験と人との関わりを学んでいく活動です。大きく分けて2つの事業で行います。

「集い場事業」・・・利用生の有無を問わずご参加いただける事業です

「アポロ事業」・・・様々なレクリエーションイベントや社会活動を行っています。

内部生・アポロ会員とその他の方で利用の一部イベントの参加可否・参加費などが違います。

○ 相談事業

「通常相談事業」・・・不登校・ひきこもり・学校中退・発達障害・対人関係不安などの方の相談を受けます。運営時間内は初回相談料無料です。

「なんでも話聞きます（仮称）」・・・カウンセリングよりハードルの低いちょっと話を聞いて欲しいなどの活動を夏ごろから予定しています。

相談料は有料（30分1000円くらいを予定）です。対象はどなたでもOKです。

○ 家庭派遣事業

訪問相談・ひきこもり家庭派遣・家庭教師・メンタルフレンド的なものとしてスタッフを派遣いたします。詳細はお問い合わせください。

※ 対象：小学生～40歳くらいまで。不登校・ひきこもり経験者・学校中退・対人関係が苦手・他人と関わる練習をしたい方・心理面のサポートを希望される方
「なんでも話聞きます（仮称）」はどなたでも対象予定です。

● 広告掲載でご支援いただけませんか？

機関紙に広告・案内などを掲載していただくことでのご支援をしていただけませんか？ KSCE 通信 発行部数 500部 メール添付 カラー版配信 22部

合計522部

当所へのご支援として通信への広告などを載せていただける団体・企業・店舗・個人の方、お気軽にお問い合わせください。

● 物品寄贈のお願い。

アポロ活動の中でのフリマ活動に対する物品寄贈や、学習サポートで使用させていただく問題集・教科書・赤本・高卒認定試験問題集パソコンソフト・絵本・知育玩具などを常時募集しております。皆様の不用品などであればぜひ寄贈いただければと思います。寄贈いただける方は京都教育サポートセンターまでお申し出ください。メール・電話など可能です。なお、送付いただく際の送料も申し訳ございませんがご負担いただいております。

集い場○

● 集い場・集い場○ 2016年度開始！

2016年度集い場は3年目に入ります。集い場○は継続のものと変更のものがありますが実施します。ぜひご参加くださいね。

集い場・・・年間20日程度京都教育サポートセンター運営時間外に設定し、いろいろな方の居場所に利用していただけます。集った人で何するかを決めて実施することもできます。

集い場○・・・実施するコンテンツに人が集う形式○（サークル）活動です。4月に2016年度の方向性を決めていきます。

現在決まっているもの

○健康体操教室・・・先生をお招きして、いろいろ体を動かして心も体も健康にしていきたいと思います、というものです。2016年度は毎月の実施予定です。詳細は決まり次第ブログ・FB・事務所掲示します。

○バスで京都散策・・・バスの1日乗車券を使っていろんなところに出かけようというものです。ミーティングでどこに行くかを決めていきます。

○学食 walk・・・いろいろな大学の学食を巡ろうというものです。時々派生として学祭に行ったり、大学じゃない食堂にも広げてみようと思います。

※ものづくりかふえは集い場○からアポロ事業として実施します。

※麻雀部・活字倶楽部は実施計画を検討中です。

※その他新しい○（サークル）活動も検討中です。してみたいものがあればスタッフまでお申し出くださいね。

○ 4・5月の通常集い場

4月2日（土） 18：00～22：00（20時までに入室ください。）

5月5日（木） 13：00～19：00（17時までに入室ください。）

入室時間以降参加者がいなくなった時点で終了とします。2日は集い場参加者の18時以前の利用も可能です。（利用生アポロ会員以外は200円）

気ままにのんびり過ごしてみませんか？

スタッフに話・相談に行くとかでも構いませんよ。

編集後記

京都教育サポートセンターはこの4月から15年目の運営年度に入ります。これも皆様のご支援のおかげです。ほんとうにありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

（南山 勝宣）

2016年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1 集い場○ 学食 Walk	2 集い場
3 お花見兼ピク ニック宝ヶ池公 園	4 ことばのがくしゅ う	5 お料理しよう	6	7	8 パレット清掃	9 外で遊ぼう
10	11 ことばのがくしゅ う	12	13	14	15 ものづくりかふえ	16 集い場○ バスで京都散策
17 社員総会	18 ことばのがくしゅ う	19	20	21	22	23 カラオケ会
24	25 ことばのがくしゅ う	26	27	28	29 GW休業	30 GW休業

4月

1日(金) 集い場○学食 walk
2016年度計画ミーティング 14時30分～

2日(土) 集い場 18時～22時
(20時まで入室ください)

3日(日) お花見兼ピクニック宝ヶ池公園
(桜が散っている場合はただのピクニックで
す) 集合時間 10時半 参加費 内部・
アポロ会員500円 その他700円
お弁当・お菓子・お茶用意します。移動交
通費やそれぞれの飲みたいものなどは各自
負担です。
※ 雨の場合はKSCEで作ったお弁当の食事
会として事務所で開催します。

5日(火) お料理しよう
アポロ事業 11時～ 参加費
内部・アポロ会員無料 その他300円

8日(金) パレット河原町清掃活動日
9時半～ アポロ事業 参加費無料

9日(土) 外で遊ぼう(予定・変更の場合 毎週日曜・月曜 お休み
有り・雨天中止) 14時～
アポロ事業 参加費無料

15日(金) ものづくりかふえ
13時～ アポロ事業 参加費無料

16日(土) 集い場○ バスで京都散策
2016年度計画ミーティング 14時半～

17日(日) 社員総会
対象 正会員・スタッフのみ 10時半～

23日(土) カラオケ会 アポロ事業
詳細はブログ・FB・事務所内に掲示します。

4月29日(金)～5月5日(木) GW休業

5月5日(木) 集い場
13時～19時(17時まで入室ください)

※桜の満開が早い場合は上記とは別に3月下旬にお花見
に出かけます。詳細はブログ・FB・事務所掲示します。

※他追加イベント実施の場合もHPとFacebookページ
で告知する予定です。

※内部生徒・アポロ会員以外の方もイベントにはご参加
いただけます。前日までにお申し込みください。

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2016年3月20日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター